

## 昭和60年度 福島県教育センター所員研究課題一覧

本教育センターでは、研究事業の一環として各所員が個人研究を行うことになっている。この研究は、個人の専門性を高めるとともに、その成果を研修講座に反映させ、講座内容のいっそうの充実を図るために、各所員が研究課題を設定して行うものである。今年度における各所員の研究課題は、下記のとおりである。

所 属	氏 名	研 究 課 題	
経営 研究 部	菅野 家作	教職員の学校経営参加に関する基礎的研究	
	本研究 係	本田 孝 学校経営と日課表	
	荒 晶子	授業における教育目標の具体的実現	
	教科外 教育係	藤本 忠平	児童生徒の友人関係に関する研究
		松本 喜男	ホームルーム経営の充実と生徒指導に関する研究
		渡部 悦夫	道徳の時間の効果的な指導—導入と一般化について—
		片寄 秀雄	特別活動の評価に関する研究 — 児童活動・生徒活動 —
		植田 守	授業設計と評価
	教育 係	林 功	授業の効率化のための教育機器の活用
		赤沼 良清	天照大神論考
	藤田 克彦	小学校社会科における「関心・態度」を育てる指導	
教科 教育 部	須永 英次	自己教育力の啓培	
	教科 教育係	石田 威	「学校体育の経営」に関する研究
		田部 定義	L Lの効率的な利用法
		水野 信	2次曲線の性質の指導
		星 英雄	作文指導における「診断と治療」の理論と方法
		五十嵐 康雄	音楽科の授業における「学習カード」の効果的な活用
		遠原 肇一	形成的テストを取り入れた社会科の指導
		田中 四郎	色彩指導の在り方を求めて
	丹治 光雄	運動の特性と小・中・高の系統的指導に関する基礎的研究	
	(教育 研)	半沢 正一	語彙指導の理論と方法 (その6)
		深沢 陽一	高等学校社会科—地理—における観点別目標分析と評価
		江尻 茂男	「観点別学習状況」の評価—中学校外国語科(英語)第1学年の場合—
		原田 伊佐雄	論理的な表現能力を高める図形指導
科学 技 術 教 育 部	渡辺 専一	学習意欲を育てる評定法の改善と実践—高等学校における理科指導を中心として—	
	理科 教育係	高野 忠夫	藍藻植物の教材利用について
		上遠野 洋明	ベンゼン誘導体の合成について
		佐藤 輝夫	福島盆地周辺に分布している赤川層・天王寺層中に見られる過去の堆積環境について
		村山 正之	力学教材の研究—加速度測定教材・教具について—
		大室 幹男	探究の過程を重視した理科授業—ローソクを用いた「物質と反応」の指導—
	技 術 教 育 係	小山 泰雄	身近な生物教材を利用した実験・観察についての研究
		斎藤 一哉	技術・家庭科における教科経営の現状と改善の視点
	情 報 教 育 係	吉田 和子	被服製作実験について
		吉田 陽一	「情報処理 I」に関する研究
中野 敏光		マイコンとその制御について	
秋葉 史裕		F A化に対応した基礎教育のための研究1)—マイコン制御によるハンドロボット—	
渡辺 栄一		学校教育におけるパソコンを利用した指導についての研究	
教育 相 談 部	坂本 守正	管理職として不登校児防止にどう対処したらよいか	
	教育 相 談 係	坂本 善一	学校教育相談に関する調査研究—相談的教師像を求めて(第3年次)—
		嶋原 弥	不登校児の同一性について
		野村 忠之	Y G性格検査と問題行動との関連 —小・中学生の場合—
	海野 和夫	教育に関する人間学的考察 その3 —主として「感化」について—	
	安倍 治男	自閉児への遊戯療法と親への指導援助のあり方	
	佐久間 益郎	教育相談における諸検査の活用について	
高石 寛治	中学生の不応行動と樹木画の全体印象との関係—反社会的行動を中心に—		